



図書館から学校におすすめする あたらしい本

平成31年4月
出版分(12冊)

◆◆◆ えほん ◆◆◆

小学1年生～

『イワシ むれでいきるさかな』

大片 忠明／さく 福音館書店 900円 ISBN978-4-8340-8450-4

群れとなって泳いでいるイワシの姿から始まり、イワシが海の中でどのように生きているのかが細かく描かれている絵本。写実的な絵がきれい。仮名だけの表記なので、1年生にも抵抗なく読める。ノンフィクション読みものの入り口ともなる作品。「うみのかくれんぼ」の单元にも使える。

『うみどりの島』

寺沢 孝毅／文 偕成社 1400円 ISBN978-4-03-332920-8

北海道の^{てうりとう}天売島が舞台。春になると、この島にたくさんの海鳥たちがやってくる。巣作りや産卵の様子、子育て等、海鳥の生態がよく分かる。あべ弘士の絵は温かみと迫力がある。見返しに天売島の海鳥の種類や海の様子、すみわけについて詳しい解説がある。

小学2年生～

『おーい、こちら灯台』

ソフィー・ブラッコール／さく 評論社 1600円 ISBN978-4-566-08048-5

世界のさいはての、小さな島にある灯台に新しい灯台守がやってきた。その仕事ぶりと生活が丁寧に描かれている絵本。優しい語り口と緻密な絵が魅力的。古き良き時代の灯台の様子がよく分かる。

小学2年生～

『物語たくさんのお月さま』

ジェームズ・サーバー／作 徳間書店 1700円 ISBN978-4-19-864843-5

名作絵本をひとり読みできる幼年童話に仕立て直した作品。月が欲しいというお姫様の願いをかなえるために、王様の家来たちは右往左往する。道化師の機転で問題は解決するが、また新たな難題が生じる。どうなるのだろうか。昔話的ユーモアと味わいがあり、安心して子供たちに薦められる本。

小学3年生～

『イマジナリーフレンドと』

ミシェル・クエヴァス／作 小学館 1400円 ISBN978-4-09-290620-4

主人公ジャック・パピエは8歳の女の子フラーのイマジナリーフレンド（見えない友だち）。フラーの想像上の少年で、彼女にしか見えない。そのことを知ったジャックはフラーのもとを離れ、自由に生きようとするが……。ジャックがうまく生きられない子ども達のために大奮闘する話。ユーモアがあって、読みやすい。

小学5年生～

『徳治郎とボク』

花形 みつる／著 理論社 1400円 ISBN978-4-652-20305-7

ボクは小学5年生。徳治郎は田舎で一人暮らしをしているおじいちゃん。とても頑固で、自分の決めた毎日の予定は崩さない。お母さんたちはそんな祖父を持って余していたが、ボクは祖父のやんちゃだったころの話を聞くのが大好きだった。ところが、突然の病気で祖父は倒れる。祖父との交流を通して、人とのつながりや生き方について考えていく少年の姿が描かれている作品。

中学生～

『瓶に入れた手紙』

ヴァレリー・ゼナッティ／作 文研出版 1500円 ISBN978-4-580-82389-1

イスラエルの少女タル17歳とパレスチナの青年ナイーム20歳とのEメールでの交流を中心に描いた作品。2人の置かれた現状や情勢が登場人物の目線で具体的に描かれている。史実をもとにされていて、リアルに感じられる。

小学3年生～

『なまはげ 秋田・男鹿のくらしを守る神の行事』

小賀野 実／写真・文 ポプラ社 1700 円 ISBN978-4-591-16267-5

秋田県男鹿市のなまはげについて書かれた本。その歴史や意味など、写真を中心にして詳しく解説している。地域によってなまはげのお面が異なることも面白い。

『めぐみの森』

藤原 幸一／しゃしん・ぶん 新日本出版社 1500 円 ISBN978-4-406-06351-7

アジアの国、ミャンマーとタイの国境にある森が舞台。現地の民族や動物について、豊富な写真で紹介。人も多く紹介されている。現地の様子の一端が垣間見られる。特に大きな問題提起は前面に出していないが、伝わってくるものがある。

中学生～

『内戦の地に生きる フォトグラファーが見た「いのち」』

橋本 昇／著 岩波書店 900 円 ISBN978-4-00-500894-0

フォトグラファーである著者が今まで訪れた12の地域の姿を、写真と簡潔な文章で解説した作品。リアルな写真は衝撃的だが、現実を的確にとらえていて、考えさせられるものがある。世界を知るために、子ども達に読んでもらいたい一冊。

★シリーズ最新刊情報★

科学がひらくスマート農業・漁業 2 野菜とフルーツを工場でつくる	大月書店
科学がひらくスマート農業・漁業 3 肉とミルク、卵をつくる新技術	